看護婦とも積極的にコミュニケーションをとる大西医師

の成果は、自分ひとりの力ではないと思っている。町当局とのパイプ役には、病院事務長の強力なバックアップがあったし、大西ら、同僚医師の協力も大きかった。なにより、ここまでの道をつけてくれた歴代の先輩医師たちの存在を忘れてはならないと、西野は思っている。「若手医師ばかりということで、なかなか信頼を持ってもらえなかったことも事実。そんななかで、多くの先輩たちが島に溶け込む努力をし、地域医療の種をまいてくれました。それが根付き、芽が出て少しずつ大きくなってきている。これらを立派に成長させるのは、これからの人の役目です」

実際、こうした努力は確実に実を結んでいる。平成六年に実施した患者意識調査では、八割以上の人から「医師、看護婦とも、訴えをよく聞いてくれる」「よく説明してくれる」「説明がわかりやすい」という回答を得た。

与えられた期間は全力で仕事をして次につないでいく。若い医師に地域医療の魅力を伝えながら——。こうした継続があって初めて、地域医療は充実していくと、西野は信じている。

思いは現在の院長、大西も同じだ。二年ごとの勤務交代は、「医師がすぐに代わってしまい不安」といったマイナス面を強調されることが多いが、大西はそれをマイナスとはとらえていない。むしろ、後輩は、前任医師が手がけなかったところをカバーしようと前向きになることの方が多い。自分もそうだった。

再び利尻島へ戻り、ここで自分にできることは何かを問いつづけた結果、長年の課題だった人工腎臓透析にたどり着いた。現在、島内には五人の透析患者がいるが、いずれも札幌と稚内の透析施設のある病院で週二〜三回透析を受けている。島から通院することは不可能なので、やむなく島外で暮らす人や、そうでなくとも病院近くにアパートを借りて週末だけ自宅に帰るという二重生活を強いられている。天候が荒れる冬場は週末さえ自宅に帰れない。こうした状況をなんとかしたい、もう一度島で暮らしてもらいたい、と大西は思う。島で透析ができるようにして欲しいという患者からの嘆願書も町長と自分のところに提出されている。

大西自身、市立稚内病院で血液透析の研修を受けたりして勉強を重ねる一方、島内の透析患者予備軍の実情を調査。利尻での透析実施の実現性を探っている。この十月には、透析機を借りて実際に透析を行なうデモンストレーションもした。自分は、やれると思う。患者も喜んでいる。町も前向きな姿勢を見せている。問題は、スタッフだった。

透析をやるには専門の技師が必要だが、なかなか見つからないのが現状だ。加えて、看護婦不足が続くなか、これ以上、看護婦の仕事を増やすにも限界がある。大西が利尻を去ったあと、だれが透析患者を引き継ぐのか。クリアしなければならない課題は山積みだ。しかし、大西はあきらめない。かつて西野が産科開設に向けて走り回っていた姿が蘇る。「自分が利尻にいる間はもちろん、去った後でも関係者にはたらき続けるつもり。患者さんのためですから」

熱い思いに動かされたのは大西だけではない。これまでの歴代勤務医は過去十数年間で三十題以上もの論文、学会発表をしてきた。いずれも、ウニの刺傷、甲状腺疾患、救急搬送の実態など地域の特色を生かしたものだ。地域に埋もれることなく、地域から世界に発信することをモットーに。

こうした伝統は着実に受け継がれている。平成十一年五月に赴任してきた小児科医の須貝雅彦（二九歳）は、自分が思い描いたとおりの仕事ができていると手応えを感じている。ふつうの人がふつうに育っていくところを見ていたい、と小児科を選んだ。利尻島へ来て驚いたのは、肥満傾向の子どもたちが多いことだ。すでに成人病の発病率が全国平均を上回る利尻島での、いわば成人病予備軍の存在の多さに危機感を覚えている。現在、個人的なネットワークを生かして小中学校の養護教員らと子どもの肥満の問題に取り組ん

現代教養文庫 今月の重版から

奇妙な論理❶❷
ガードナー著 ❶640円 ❷600円

破断　小説原発事故
吉原公一郎著●600円

原子力帝国
R・ユンク著●544円

日本の民謡 東日本編・西日本編
長田暁二　千藤幸蔵編●各1200円

黒澤明の映画（増補版）
ドナルド・リチー著●1500円

江戸川柳の謎解き
室山源三郎著●680円

万葉の旅（上中下）
犬養　孝著●各800円

禅のはなし
佐藤俊明著　井上球二絵●520円

修証義に学ぶ
佐藤俊明著●600円

新版 学生に与う
河合栄治郎著●840円

日本怪談集（幽霊篇）（妖怪篇）
今野圓輔著●各760円

開拓農民の記録
野添憲治著●660円

エピソード魔法の歴史
G・ジェニングズ著●600円

バールバック聖書物語 新刊
刈田元司訳　ノーベル文学賞作家バール・バックが描く愛と創世の物語［旧約篇］980円［新約篇］720円

タレント文化人100人斬り
佐高　信著●27刷・640円

定訳 菊と刀—日本文化の型
R・ベネディクト著●600円

聖書物語
山室　静著●560円

薬膳▶健康を食べよう（全3冊）
正岡慧子著●箱入セット・1864円

魯迅に学ぶ批判と抵抗
佐高信著●600円

勲章の内幕
大鹿友和著●800円

社会思想社
■東京都文京区本郷3（税別）
☎03-3813-8101　■書店品切の時は代金引替宅急便380円